

**\* 見どころ紹介**

春～初夏 (5月下旬～6月)



ヒメイチゴ



ミズバショウ



エゾリュウキンカ



サンカヨウ



ナナカマド



オオバミソホオズキ

夏本番 (7月～8月)



ギンリョウソウ



ヨツバヒヨドリ



ヤマハハコ



ネジバナ



キツリフネ



ツルニンジン

**\* 湿原では**



ホロムイイチゴ



イソツツジ



コツマトリソウ



ワタスゲ



ノリウツギ



タチギボウシ



サワギキョウ



エゾヤマリンドウ

秋の景色 (9月～10月)



ミソソバ



ベニテングタケ



ホコリタケ



ツルリンドウ



ツクバネソウ



ヤマドリゼンマイ紅葉

**\* 生き物たち**



オオルリボシヤンマ



カオジロトンボ



産卵  
(8月)



顔アップ



アオイトトンボの仲間



ヒメギス



ヒョウモンチョウの仲間



ヒメシジミ



キタキツネ



エゾアカガエル

**おでかけの  
基本服装**

服装は、長そで・長ズボン、  
帽子、歩きやすい靴で。  
虫除け、飲み物、秋は  
上にもう1枚羽織るものが  
あるといいですよ!



**\* 鏡沼**

鏡沼はニセコアンヌプリの北東斜面中腹 (標高 570m) に位置する高層湿原の中にあります。この湿原はおもに雪解け水によって維持されており、沼の対岸にはミズナラ・イタヤカエデ・ホノキなどの巨木が原生に近い森林として存在しています。

風のない穏やかな日には水面に周囲の景色が映し出され、まさに鏡のような光景になることからこの名がつけられました。また、沼には浮島があり、風によって少しずつ移動しています。



鏡沼



浮島

**\* 高層湿原とは**

湿原は水分の供給面から低層と高層に分けられます。高層湿原は河川の流入がなく、雨水と地下水によって維持されているのが特徴で、おもに気温の低い地域にみられます。

低温・過湿のため枯死した植物が分解されず泥炭となり、栄養分の供給がない貧栄養な状態のため、ミズゴケなど独特な植物をみることができます。



食虫植物のモウセンゴケ

**\* 鏡沼へのアクセス**



JR倶知安駅から  
車・タクシーで約15分

JR 北海道  
バス

**\* ニセコへのアクセス**

鉄道 (JR) でニセコへ  
小樽 → JR 倶知安駅 1時間～1時間20分  
札幌 → JR 倶知安駅 2時間前後  
新千歳空港 → JR 倶知安駅 2時間45分前後  
函館 → JR 倶知安駅 3時間～4時間

お車での移動  
新千歳空港 → ニセコ 116km 2時間20分 国道276号線 美瑛峠経由  
札幌 → ニセコ 100km 2時間20分 国道230号線 中山峠経由  
小樽 → ニセコ 70km 1時間35分  
函館 → ニセコ 180km 3時間20分

バスでの移動 (夏シーズン)  
新千歳空港 → ニセコの各リゾートへ 約2時間30分  
札幌 → ニセコの各リゾートへ 約3時間



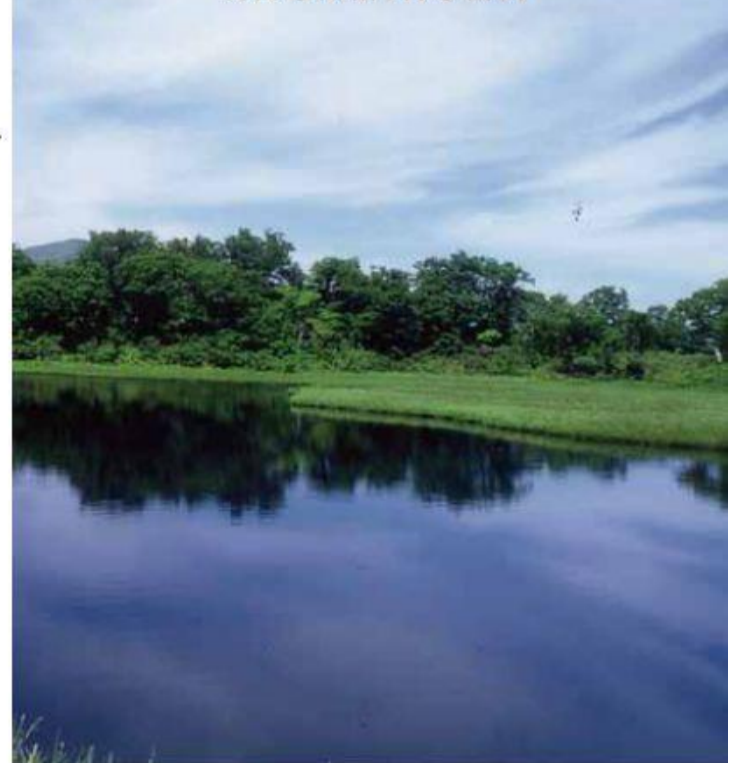
一般社団法人ニセコプロモーションボード

〒044-0081 北海道虻田郡倶知安町字山田 204 ニセコ高原ホテル内

TEL. 0136-21-2551 FAX. 0136-21-2553

[www.nisekotourism.com](http://www.nisekotourism.com)

**鏡沼**  
GUIDE MAP  
KAGAMINUMA



ニセコアンヌプリの高層湿原